

シラバス

教 科	科 目	単位数	学 年	コ ー ス	組
地歴公民	N 世界史	5	3	文系NP	9組

教科書	世界史探究 詳説世界史（山川出版社）	副教材	最新世界史図説「タペストリー」（帝国書院）

科目の目標	第二次世界大戦後の国際情勢は、21世紀に入った現在も、各地での戦争・紛争は絶えることなく発生しており、
	宗教・民族・領土などの多くの課題が山積している。世界史という科目を通して、それらの諸問題の要因と因果関係を
	探り、我が国の歴史と関連付けながら、人類の課題を多角的に考察することを狙いとする。

科目の概要	第二次大戦後も、各地での戦争・紛争は絶えることなく勃発し、環境問題・さらには宗教間の対立など、我々の生活を
	脅かす多くの問題が生じている。ではなぜ、そのようなことが起こるのか。どのような原因があるのかを理解するためには、
	過去を多角的に考察していく必要がある。世界史は過去を学び、未来へつなげる建設的な科目であるといえる。

観点別評価			
3 観 点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10 の 力	①「知力・学力」	②「課題対応力」、③「論理的思考力」、 ④「原因分析力」、⑤「傾聴力」、⑥「受 信・発信力」、⑦「協働力」	⑧「行動力」、⑨「自己管理能力」、⑩ 「自己実現力」
観 点 の 評 価	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解している。また、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	捉えた事実に即して課題を発見し、その課題を解決するためにどのような取り組みが必要となるのか考える力を高める。また、課題や解決方法について他者の意見や論理について触れることで、より妥当な知恵を見出し、それらを適切に言語化する力を身につける。	授業の内外で、歴史に対して興味や関心を深め、積極的に学習する力を高める。歴史的思考力を大事にして、現在の社会のありようを捉え、自分が社会のなかで何ができるかを考え、よりよい社会の実現に向けて行動する力を身につける。
評 価 の 方 法	・定期試験	・レポート課題など文章化した成果物やプレゼンテーション ・課題を見つけ、解決する過程での議論の様子	・授業中の活動 ・課題への取り組み方 ・自主的な学習や活動

学 習 計 画		
学期	学 習 内 容 (単 元)	単 元 別 学 習 目 標
1 学 期	第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 1～2 第9章 大交易・大交流の時代 1～2 第11章 近世ヨーロッパ世界の動向 1～3 【1学期 中間試験】 5月18日～21日	10世紀以降、キタイ・金は唐の支配を継承し、宋は海運との関係を強化したことを理解する。また、ユーラシアの陸と海を結合したモンゴルの歴史と、各地への影響について考察する。「世界の一体化」が始まった時期に、アジアではどのような動きが起こっていたかを理解する。ルネサンスの動機を考察し、宗教改革の展開および主権国家体制の形成について理解する。
	第11章 近世ヨーロッパ世界の動向 4～6 第12章 産業革命と環大西洋革命 1～4 第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 1 【1学期 期末試験】 7月1日～7日	オランダ・イギリス・フランスがそれぞれ有した特徴と、この時期の歴史的事象について理解する。産業革命が世界経済に与えた影響を考察し、イギリスの経済覇権の確立について理解する。アメリカの独立に至る経緯を把握し、独立後の国内情勢や対外的影響を理解する。フランス革命前後のフランス国内の変化を理解し周辺諸国への影響を考察する。ナポレオン登場後のヨーロッパの情勢について理解する。
2 学 期	第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 2～4 第14章 アジア諸地域の動揺 1～3 第15章 帝国主義とアジアの民族運動 1～3 【2学期 中間試験】 10月13日～16日	1850年代から70年代におけるヨーロッパ諸国の変革について各国の情勢を探りながら理解する。イタリアの統一過程とドイツの統一過程を比較しながら考察する。アメリカ合衆国の急速な発展要因について考察し、領土の拡大が与えた社会への影響を理解する。
	第16章 第一次世界大戦と世界の変容 1～3 第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 1～3 第18章 冷戦と第三世界の台頭 1～3 第19章 冷戦の終結と今日の世界 1～4 【2学期 期末試験】 12月1日～7日	第一次世界大戦の勃発と経過を概観するとともに、ロシアのソヴィエト政権成立過程を理解する。第二次世界大戦について多角的な視点で考察する。第二次世界大戦後の国際秩序について、第一次世界大戦後の状況と比較しながら、その違いについて考察する。冷戦の基本的構造を理解し、西側・東側陣営の動向を概観するとともに、それに伴う周辺国の諸問題を理解する。
3 学 期	特別編成授業 生徒の進路および希望に合わせて受験講座と教養講座を設置する。	受験講座：大学入試問題に対応できる力を身につける。 教養講座：各自の興味・関心に合わせて、さまざまな分野の学習体験を通じて教養を深める。